

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年7月6日(2017.7.6)

【公開番号】特開2016-193347(P2016-193347A)

【公開日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2016-064

【出願番号】特願2016-163932(P2016-163932)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月24日(2017.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の遊技が行われる遊技機であって、

所定条件の成立に基づいて判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて特別の結果が得られたとき、遊技者に利益を付与する利益付与手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて演出を制御する演出制御手段と、

前記演出制御手段により演出画像が表示される演出表示手段と、

遊技者により操作可能な操作受け部が設けられる特定操作手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記特定操作手段の操作受け部が遊技者により操作されることで特定の演出実行条件が成立する特定演出受付期間を発生可能な特定演出受付期間発生手段と、

前記演出表示手段において前記特定操作手段に対する操作を促す指示演出が実行されないなかで、遊技者による操作を受けること無しに前記特定操作手段を動作させる動力を付与する動力付与手段と、

前記指示演出が実行されており且つ前記特定演出受付期間にかかる制御がなされている状態で前記特定操作手段の操作受け部が遊技者により操作された場合、前記特定の演出実行条件の成立に基づき特定の操作対応演出を実行可能な操作時演出実行手段と、

前記特定演出受付期間にかかる制御がなされていない状態で、前記動力付与手段による動力付与によって前記特定操作手段が遊技者による操作を受けること無しに動作する場合、該動作中に特定の非操作時演出を実行可能な非操作時演出実行手段と、を備え、

前記特定の操作対応演出と前記特定の非操作時演出とは、それぞれ異なる演出として実行されるものであり、

前記特定操作手段は所定の発光部を有し、該発光部は、前記動力付与手段による動力付与によって前記特定操作手段が遊技者による操作を受けること無しに動作している間に発光可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

しかしながら、このような従来の遊技機であっても、依然として遊技興趣の低下が懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1に記載の発明は、

所定の遊技が行われる遊技機であって、

所定条件の成立に基づいて判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて特別の結果が得られたとき、遊技者に利益を付与する利益付与手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて演出を制御する演出制御手段と、

前記演出制御手段により演出画像が表示される演出表示手段と、

遊技者により操作可能な操作受け部が設けられる特定操作手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記特定操作手段の操作受け部が遊技者により操作されることで特定の演出実行条件が成立する特定演出受付期間を発生可能な特定演出受付期間発生手段と、

前記演出表示手段において前記特定操作手段に対する操作を促す指示演出が実行されていないなかで、遊技者による操作を受けること無しに前記特定操作手段を動作させる動力を付与する動力付与手段と、

前記指示演出が実行されており且つ前記特定演出受付期間にかかる制御がなされている状態で前記特定操作手段の操作受け部が遊技者により操作された場合、前記特定の演出実行条件の成立に基づき特定の操作対応演出を実行可能な操作時演出実行手段と、

前記特定演出受付期間にかかる制御がなされていない状態で、前記動力付与手段による動力付与によって前記特定操作手段が遊技者による操作を受けること無しに動作する場合、該動作中に特定の非操作時演出を実行可能な非操作時演出実行手段と、を備え、

前記特定の操作対応演出と前記特定の非操作時演出とは、それぞれ異なる演出として実行されるものであり、

前記特定操作手段は所定の発光部を有し、該発光部は、前記動力付与手段による動力付与によって前記特定操作手段が遊技者による操作を受けること無しに動作している間に発光可能である

ことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

この発明によれば、遊技興趣の低下を抑制することができる。